

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 令和元年度課題別研修「住民参加による教育開発」

(英文) Educational Development with Community Participation

(2) 研修期間 令和2年1月27日～令和2年2月14日

(3) 研修員数 11人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 石坂 広樹

2. 案件目標(アウトカム)と単元目標(アウトプット)の達成度

(1) 案件目標(アウトカム)

参加者が、地域住民の参画を得て学校運営委員会を機能させ、初等教育へのアクセスと質の改善(特に子どもの基礎学力の向上)を図るための研修を地域住民及び学校等に対して行えるようになる。

指標：研修員が本邦研修終了時に提出したアクションプランの中で、地域住民の参画を得て学校運営委員会を機能させ、初等教育へのアクセスと質の改善(特に子どもの基礎学力の向上)を図るための研修を地域住民及び学校等に対して行う活動が明記されている。また、研修員の帰国後2ヶ月以内にアクションプランが所属組織の中で共有される予定になっている。

達成度：研修員全員のアクションプランにおいて、上記内容が明記されていることが確認された。

(2) 単元目標(アウトプット)

単元目標①：参加各国の教育開発の現状(特に子どもの基礎学力)に対し、住民参加による教育開発の教育政策における位置づけ及び役割が理解される。

指標：研修員が研修初期に発表した、学力向上への取り組みや住民参加型学校運営に関する発表や同内容の講義での質疑・議論について4段階評価でB(やや優れている)以上。

単元目標②：住民参加による教育開発アプローチの理論的枠組みと実践例が理解される。

指標：住民参加による教育開発アプローチの理論的枠組みと実践例に関する講義における質疑・議論が4段階評価でB(やや優れている)以上。

単元目標③：住民参加による教育開発(子どもの基礎学力向上のための取り組みを含む)のための手法が習得される。

指標：住民参加による教育開発(子どもの基礎学力向上のための取り組みを含む)のための手法に関する講義での質疑・議論、さらに演習の実践について4段階評価でB(やや優れている)以上。

単元目標④：参加各国で実施可能な住民参加による教育開発のためのパイロット活動計画案(研修資料案、予算案を含む)が作成される。

指標：研修員により作成された住民参加による教育開発のためのパイロット活動計画案(研修資料案、予算案を含む)が4段階評価でB(やや優れている)以上。